

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-1	<p>【目標】 構造上危険な状態にある公立幼稚園、義務教育諸学校、特別支援学校及び高等学校の校舎を改築し、児童生徒等の安全を守り、安心で豊かな教育環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立小中学校の構造上危険な状態にある建物の改築（12校） 公立幼稚園の構造上危険な状態にある建物の改築（4園） ②危険建物の安全率 対象事業箇所の児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （2,257人／144,313人） 対象事業箇所の園児数／県内幼稚園園児数 （223人／13,071人）</p>	H30	—	[H30] C-1のNo. 6～21	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-2	<p>【目標】 教育を行うのに著しく不適当な建物で特別な事情のあるものについて、公立幼稚園及び義務教育諸学校の校舎を改築し、教育機能の向上及び校地の有効利用等の観点から教育条件の改善を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立小中学校学校の不適格改築（3校） 公立幼稚園の不適格改築（1園） ②教育環境改善率 対象事業箇所の児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （834人／144,313人） 対象事業箇所の園児数／県内幼稚園園児数 （82人／13,071人）</p>	H30	—	[H30] C-3のNo. 22～25	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-3	<p>【目標】 経年により、通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施に資するとともに、併せて建物の耐久性の確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立学校の大規模改造事業（質的整備）（25校） 公立幼稚園（こども園）の大規模改造事業（質的整備）（1園） ②教育環境改善率 対象事業箇所の児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （12,845人／144,313人） 対象事業箇所の園児数／県内幼稚園園児数 （39人／13,071人）</p>	H30	—	[H30] C-4のNo. 26 C-5のNo. 32～37, 39 ～61, 118～123	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【定量的指標の変更】 事業計画の変更によるもの</p>
C-4	<p>【目標】 子ども達の最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子ども達を育成するため、屋外環境の一体的な整備充実を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立学校の屋外教育環境の整備に関する事業（運動場） （6校） 市町村立学校の屋外教育環境の整備に関する事業（学習施設） （1校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （3,052人／144,313人）</p>	H30	—	[H30] C-7のNo. 64～70	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-5	<p>【目標】 へき地における義務教育の円滑な実施及び教育水準の向上を図るため、へき地教員住宅、へき地集会所及びへき地寄宿舎の整備を行う。</p> <p>【定量的指標】 ①へき地教員住宅等の整備に関する事業（1校） ②へき地教職員の環境改善率 対象事業に係るへき地教員数／県内教員数 （10人／9,725人）</p>	H30	—	[H30] C-10のNo. 71	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【定量的指標の変更】 事業計画の変更によるもの</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-6	<p>【目標】 公立幼稚園における教室の不足を解消するための園舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 ①幼稚園の園舎の新増築（4園） ②教育環境改善率 対象事業箇所の園児数／県内幼稚園園児数 （390人／13,071人）</p>	H30	—	[H30] C-14のNo. 77～80	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-7	<p>【目標】 学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校及び沖縄県の夜間定時制高等学校における学校給食施設を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①学校給食施設の新増築・改築（3施設） ②教育環境改善率 対象施設の配食校に係る児童生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （1,722人／144,313人）</p>	H30	—	[H30] C-17のNo. 83, 85 C-18のNo. 86～ 87, 89	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【定量的指標の変更】 事業計画の変更によるもの</p>
C-8	<p>【目標】 学校教育活動の円滑な実施及びスポーツ振興のため、義務教育諸学校に係る体育諸施設の整備促進を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①水泳プール新改築事業（9校） 武道場の新改築（2校） ②教育環境改善率 対象施設に係る児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （6,334人／144,313人）</p>	H30	—	[H30] C-19のNo. 90～98 C-20のNo. 99～100	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-9	<p>【目標】 学校施設について、発災時における児童生徒のための応急避難場所としての必要な機能が発揮できるよう、防災機能の強化を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立小中学校の防災機能の強化に関する事業（3校） ②教育環境改善率 対象施設に係る児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （1,790人／144,313人）</p>	H30	—	[H30] C-22のNo. 101～103	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>
C-10	<p>【目標】 太陽光発電設備、風力発電設備若しくは太陽熱利用設備又は蓄電池を設置し、地域の実情に応じた地球温暖化対策の推進や環境教育への活用を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①市町村立小中学校の太陽光発電等の整備に関する事業（1校） ②教育環境改善率 対象施設に係る児童・生徒数／県内小中学校児童・生徒数 （757人／144,313人）</p>	H30	—	[H30] C-23のNo. 104	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-11	<p>【目標】 構造上危険な状態にある県立学校の校舎を改築し児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（1校） ②危険建物の安全率 対象事業箇所の生徒数／県立学校数生徒数 （282人／47,995人）</p>	H30	—	[H29] C-1のNo. 6 [H30] C-1のNo. 1	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-12	<p>【目標】 構造上危険な状態にある県立学校の校舎を改築し児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（3校） ②危険建物の安全率 対象事業箇所の生徒数／県立学校数生徒数 (2,379人／47,995人)</p>	H31	—	[H30] C-1のNo. 2, 4, 115	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【定量的指標の変更】 事業計画の変更によるもの</p>
C-13	<p>【目標】 経年による学校建物の損耗等に対する復旧措置及び建物の用途変更に伴う改築等を行うことにより教育環境の改善を図り、もって学校教育の円滑な実施及び建物の耐久性確保を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の大規模改造事業（質的整備）（4校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の生徒数／県立学校数生徒数 (3,299人／47,995人)</p>	H30	—	[H30] C-5のNo. 27～31	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-14	<p>【目標】 子ども達の最も身近にある学校の屋外環境を様々な体験活動の場として活用し、たくましく心豊かな子ども達を育成するため、屋外環境の一体的な整備充実を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の屋外教育環境の整備に関する事業（運動場）（2校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の生徒数／県立学校数生徒数 (1,113人／47,995人)</p>	H30	—	[H29] C-7のNo. 56 [H30] C-7のNo. 62, 63	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-15	<p>【目標】 特別支援学校における教室の不足を解消するための校舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 ①特別支援学校の建物の新増築（1校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の予定生徒数／県立特別支援学校生徒数 (62人／2,190人)</p>	H30	—	[H30] C-11のNo. 73	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-16	<p>【目標】 特別支援学校における教室の不足を解消するための校舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 ①特別支援学校の建物の新増築（1校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の予定生徒数／県立特別支援学校生徒数 (140人／2,190人)</p>	H31	—	[H30] C-11のNo. 75	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【定量的指標の変更】 事業計画の変更によるもの</p>
C-17	<p>【目標】 高等学校における教室の不足を解消するための校舎の新築又は増築により教育の円滑な実施を確保する。</p> <p>【定量的指標】 ①特別支援学校の建物の新増築（1校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の予定生徒数／県立特別支援学校生徒数 (250人／45,407人)</p>	H31	—	[H30] C-13のNo. 76	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
C-18	<p>【目標】 学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校及び沖縄県の夜間定時制高等学校における学校給食施設を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①学校給食施設の新増築（1施設） ②教育環境改善率 対象事業箇所の生徒数/県立の給食対象校生徒数 (202人/2,622人)</p>	H31	—	[H30] C-17のNo.81	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【達成予定年度の変更】 事業期間の変更によるもの</p>
C-19	<p>【目標】 学校給食の普及充実及び安全な学校給食の実施を図るため、公立の義務教育諸学校及び沖縄県の夜間定時制高等学校における学校給食施設を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①学校給食施設の新増築（1施設） ②教育環境改善率 対象事業箇所の生徒数/県立の給食対象校生徒数 (80人/2,622人)</p>	H31	—	[H30] C-17のNo.82	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p>
C-20	<p>【目標】 専門教育のための施設等を整備することにより、産業教育を通じて、勤労に対する正しい信念を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養い、もって経済自立に貢献する有為な国民を育成するため、産業教育の振興を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①装置の老朽化に伴う更新（10箇所、14装置） ②当該年度整備対象校等のうち施設(装置)稼働率が前年度以上となる学校等の割合 100%</p>	H30	—	[H30] C-16のNo.105~114	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進における「専門教育の充実」</p>
C-21	<p>【目標】 構造上危険な状態にある県立学校の校舎を改築し児童生徒等の安全を守り、安心して豊かな教育環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（2校） ②危険建物の安全率 対象事業箇所の生徒数/県立学校数生徒数 (1,661人/47,995人)</p>	H32	—	[H30] C-1のNo.116,117	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(3)-ウ 時代に対応する魅力ある学校づくりの推進</p> <p>【成果目標の追加】 計画変更による事業追加に伴い、新たに成果目標を設定</p>
D1-1	<p>【目標】 今後の水需要に適切に対応するとともに、水質の安全性を確保するための水道施設等の整備を推進する。また、島嶼県である本県において水道施設が被災した場合、水道事業者相互や他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたっての断水が危惧されることから、耐震化を推進する。</p> <p>【定量的指標】 ①平成37年度を達成予定年度として、基幹管路耐震化率45%、施設改良率55%を目指す。 ※基準値 (H26) : 基幹管路耐震化率38.7%、施設改良率 4.8% 実績値 (H28) : 基幹管路耐震化率40.8%、施設改良率 8.1% 最終目標値 (H37) : 基幹管路耐震化率45.0%、施設改良率55.0%</p> <p>②平成37年度を達成予定年度とし、被災直後の用水供給可能人口51万人を目指す。※用水供給可能人口とは市町村の供給点まで用水供給を可能とする人口</p> <p>※基準値 (H27) : 用水供給可能人口 4.9万人 中間目標値 (H30) : 用水供給可能人口15.0万人 最終目標値 (H37) : 用水供給可能人口51.0万人</p>	H37	H30	[H29] D1のNo.1~4 [H30] D1のNo.1~5	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化 ・2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>【事前評価等】 H21厚生労働省費用対効果マニュアルに基づき実施 ・B/C 10.20</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
D2-1	<p>【目標】 社会福祉法人等が行う老朽化した障害者福祉施設等の施設、設備の整備に要する経費の一部を補助することにより、施設利用者の安全・安心を確保し、福祉向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①障害福祉サービス事業所の大規模修繕（老朽）（1施設） ②障害福祉サービス事業所の大規模修繕（老朽）に伴う受益者数（60人）</p>	H30	—	[H30] D2のNo.1	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画・2-(3)-イ 障害のある人が活動できる環境づくり</p>
D3-1	<p>【目標】 老朽化等に伴い移転新築する医療機関等を整備し、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を図るとともに、医療施設における患者の療養環境及び医療従事者の職場環境の改善並びに医療従事者の養成本の充実を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①民間医療機関の新築移転に伴う施設整備 1件 ②急患搬送患者受入時間の短縮化 現状（H27）より20分短縮（1件当たり） ③ICU及びHCUの増床（ICU：10床→14床、HCU：12床→15床）</p>	H31	—	[H29] D3のNo.1 [H30] D3のNo.1	<p>【定量的指標等の変更】 ・工期延長に伴い達成年度を平成31年度に変更する。 ・計画の一部変更に伴い、事業完了後のHCUの増床数を3（当初の増床数は4）とする。</p>
E1	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 農業生産基盤整備の強化（優良農地の確保）： （H33）約1,000ha</p>	H34	H31	[H29] E1のNo.1, 22～27, 61, E2のNo.1～12 [H30] E1のNo.1, 27～35, 60, E2のNo.1～8	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（平成29年度～平成33年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html ○B/C 南振地区…1.07 オホナ東地区…1.03 三川地区…1.15</p>
E2	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 農地及び農業用施設の保全強化（優良農地の保全）： （H33）約1,000ha</p>	H34	H31	[H29] E1のNo.2～21, 28～40, 62～63 [H30] E1のNo.2～26, 36～43, 61～62	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（平成29年度～平成33年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html ○B/C 伊豆味力比'地区…1.10 松田地区…1.31 高瀬第1地区…1.09</p>
E3	<p>【目標】 多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 生活環境基盤の強化（集落排水処理人口の向上）： （H33）約6,000人</p>	H34	H31	[H29] E1のNo.44～56, 64～65 [H30] E1のNo.47～55, 63～64	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（平成29年度～平成33年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html ○B/C 知念西部地区…1.27 伊芸地区…1.11 恩納2期地区…1.38</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
E4	<p>【目標】 多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 生活環境基盤の強化（定住化促進に向けた環境基盤整備）： （H33）約10集落</p>	H33	H31	<p>[H29] E1のNo.57～60</p> <p>[H30] E1のNo.56～59</p>	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（平成29年度～平成33年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C 今帰仁西地区…4.77 米須西地区…2.65</p>
E5	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、多面的機能を活かした地域の活性化や定住の促進、環境に優しい循環型・省エネ型の農村地域を構築することを目標とする。</p> <p>【定量的指標】 美ら海・農業の推進（赤土等流出防止対策）： （H33）約400ha</p>	H33	H31	<p>[H29] E1のNo.41～43</p> <p>[H30] E1のNo.44～46</p>	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（平成29年度～平成33年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C 仲里地区…1.81 伊是名村第2地区…4.22 比屋定地区…1.20</p>
E6	<p>【目標】 担い手への土地利用集積の推進による規模拡大の実現や地域内の未・低利用地を新たに飼料生産基盤に活用することにより畜産主産地の形成を促進する。</p> <p>【定量的指標】 草地の整備 : 17.63ha 肉用牛飼養頭数の増 : 1,171頭</p>	H31	-	<p>[H29] E1のNo.66</p> <p>[H30] E1のNo.65</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/kikaku/documents/1_chikusan.pdf</p> <p>○B/C 1.50 → 1.29</p> <p>【定量的指標の変更】 ・草地の実施面積の減 (18.02ha→17.63ha)</p> <p>【達成予定年度の変更】 ・H30→H31</p>
E7	<p>【目標】 沖縄県営林道施設長寿命化計画に基づいた定期的な点検診断を実施し、診断結果から個別施設計画を見直すことにより、予防保全を主体とした施設管理に努め、安全性の確保並びに維持管理費用の縮減及び平準化を推進する。</p> <p>【定量的指標】 長寿命化計画の対象橋梁全14基について、平成30年度に点検診断を実施する。</p>	H30	-	[H30] E1のNo.66	
E8	<p>【目標】 森林の生産力の回復・機能向上を目的に、森林整備事業を実施し、森林の持つ多面的機能の発揮を図る。</p> <p>【定量的指標】 林木の成長が不良な土地等を対象として、6.2haの植栽を実施する。</p>	H30	-	<p>[H29] E1のNo.67～69</p> <p>[H30] E1のNo.67～69</p>	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（平成28年度～平成30年度）において策定した目標に準ずる</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/shinrin/chiiikiseibikeikaku.html</p> <p>【定量的指標の変更】 農山漁村地域整備計画（平成28年度～平成30年度）の変更に伴い成果指標に変更があったため。11.2ha→6.2ha</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
E9	<p>【目標】（予防治山事業） 山地災害防止対策の実施により、荒廃危険山地の崩壊等を予防する。</p> <p>【定量的指標】 山地災害防止対策が実施される山地災害危険地区数 10地区</p>	H31	—	<p>[H29] E1のNo. 71</p> <p>[H30] E1のNo. 70</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/norinkikaku/kikaku/documents/02_shinrin.pdf ○B/C 名護市世富慶 8.72</p> <p>【定量的指標の変更】 ・H30予算減額に伴う事業期間の延長（H30→H31）</p>
E10	<p>【目標】（山地災害総合減災対策治山事業） 山地災害危険地区が複数存在する地域において、地域と協働で減災計画を策定し総合的な治山対策を実施する。</p> <p>【定量的指標】 山地災害防止対策が実施される山地災害危険地区数 1地区</p>	H30	—	<p>[H29] E1のNo. 74</p> <p>[H30] E1のNo. 71</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/norinkikaku/kikaku/documents/02_shinrin.pdf ○B/C 名護市許田 1.59</p>
E11	<p>【目標】（漁場保全の森づくり事業） 漁場後背地の森林を整備することにより、栄養塩類等の供給や濁水の緩和等による漁場環境の保全を図る。</p> <p>【定量的指標】 漁場の後背地における森林の整備地区数 7地区</p>	H31	—	<p>[H30] E1のNo. 72</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/norin/norinkikaku/kikaku/documents/02_shinrin.pdf ○B/C 宮古島比嘉 1.18</p> <p>【定量的指標の変更】 ・H30予算減額に伴う事業期間の延長（H30→H31）</p>
E12	<p>【目標】 水産物の生産及び流通機能の強化を図るため、漁港の整備を行う。（恩納地区）</p> <p>【定量的指標】 平成33年度 ・防波堤の整備 新設・改良 L=140m ・航路・泊地の浚渫 A=21,500㎡ ・物揚場の整備 新設 L=157m</p> <p>平成30年度 ・防波堤の整備 新設・改良 L=80m ・航路・泊地の浚渫 A=11,145㎡ ・物揚場の整備 新設 L=157m</p>	H33	H30	<p>[H29] E1のNo. 79, 96</p> <p>[H30] E1のNo. 73, 93</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C 1.51</p> <p>【定量的指標の追加】 中間評価目標の設定</p>
E13	<p>【目標】 定期フェリーの就航率向上を図るため、フェリーパースの整備を行う。（伊是名地区）</p> <p>【定量的指標】 平成32年度 ・岸壁の整備 L=135m ・航路・泊地の浚渫 A=146,304㎡</p> <p>平成31年度 ・岸壁の整備 L=90m ・航路・泊地の浚渫 A=146,304㎡</p>	H32	H31	<p>[H29] E1のNo. 80, 96</p> <p>[H30] E1のNo. 74, 93</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C 1.33</p> <p>【定量的指標の追加】 中間評価目標の設定</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
E14	<p>【目標】 漁業生産基盤と漁村の生活環境施設の総合的な整備を行うことにより、水産物の安全で効率的な供給体制と漁村の再生を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>①漁船が台風時に安全に避難できる岸壁整備量（整備率） 3,478m（61%）（H22年度） →5,601m（70%）（H27年度） →5,918m（75%）（H33年度）</p> <p>②漁港等の総合的な整備を行う地区数 0地区（H24年度） →16地区（H29年度） →23地区（H33年度）</p>	H33	—	<p>[H29] E1のNo. 81～87, 97</p> <p>[H30] E1のNo. 75～81, 94</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(7)-イ 交流と共創による農山漁村の活性化</p> <p>・3-(7)-カ 亜熱帯・島しょ性に適合した農林水産業の基盤整備</p> <p>・3-(12)-イ 農林水産業の振興</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C ・糸満地区：1.24、うるま地区：1.21、東地区：1.15、西崎地区：1.41、石垣北地区：1.38、伊平屋地区：1.14、今帰仁地区：2.45、博愛地区：1.11、久部良地区：1.41</p> <p>【定量的指標の岸壁整備量および地区数の変更】 岸壁整備量については、成果指数の変更によるもの。地区数については、事業計画の変更によるもの。</p>
E15	<p>【目標】 高潮・波浪等による被害から海岸を防護し、もって国土の保全を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>H24当初 ・防護面積 0ha，防護人口 0人（屋我地・伊是名地区）</p> <p>H30中間 ・防護面積 28.7ha，防護人口 781人（屋我地地区）</p> <p>H32完了 ・防護面積 28.7ha，防護人口 781人（屋我地地区） ・防護面積 5.61ha，防護人口 116人（伊是名地区）</p>	H32	H31	<p>[H29] E1のNo. 88, 98</p> <p>[H30] E1のNo. 82, 95</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/norinkikaku/koji/koukyoujigyoujizennhyouka25.html</p> <p>○B/C 伊是名地区：11.81</p> <p>【達成予定年度の変更】 事業計画の変更によるもの（H30→H32。H31に中間評価年度を設定。）</p> <p>【定量的指標の追加】 H24当初の現況値を追加、H30中間の数値目標を設定</p>
E16	<p>【目標】 海岸保全施設の機能診断等を行い、施設の老朽化に対する対策方法や管理計画等を盛り込んだ長寿命化計画を策定し、保管理型の維持管理を導入することで、施設の長寿命化を図る。</p> <p>【定量的指標】 長寿命化計画の策定地区数 県管理漁港海岸：13地区 市町村管理漁港海岸：28地区</p>	H30	—	<p>[H29] E1のNo. 89～95, 98</p> <p>[H30] E1のNo. 83～92, 95</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>【定量的指標の地区数の変更】 調整の結果、長寿命化計画の策定が不要となった地区が生じたため</p>
F-1	<p>【目標】 工業用水の安定的な供給を確保するため、老朽化した工業用水道施設の計画的な更新及び耐震化を推進することにより、事故や地震等による災害発生時において、被害の軽減及び迅速な復旧を図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>①平成36年度を達成予定年度として、東系列導水路トンネル更新率100%を目指す。 ※基準値（H27）：更新率 0% 実績値（H28）：更新率 0% 最終目標値（H36）：更新率100%</p> <p>②平成36年度を達成予定年度として、東系列導水路トンネルの計画的な更新を実施し災害発生時における復旧時間の短縮（125日→0日）を図る。 ※基準値（H27）：復旧時間125日 中間目標値（H30）：復旧時間102日 最終目標値（H36）：復旧時間 0日</p>	H36	H30	<p>[H29] FのNo. 1</p> <p>[H30] FのNo. 1</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・3-(9)-ウ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>工業用水道事業に係る政策評価実施要領（経済産業省）に基づき実施 沖縄工業用水道改築事業（H27～H36） ・B/C 1.79</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-1	<p>【目標】 地域特性に応じた交通・輸送基盤の整備（生活に密着した道路整備）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H29) 29% 最終目標値(H31) 100%</p> <p>現況値(H29) : 実績整備延長/計画整備延長 = 9,680m / 33,460m =29%</p> <p>最終目標値(H31) : 目標整備延長/計画整備延長 = 33,460m / 33,460m =100%</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 1～ 17, 19, 29, 272</p> <p>[H30] GのNo. 1～ 17, 19, 29, 264</p>	<p>【参照計画等】 沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>【施策展開】2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備 ※道路街路課（道路事業）</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・宜野湾南風原線 1.8 ・国道331号（塩屋工区） 1.5 ・伊計平良川線（宮城島工区） 1.8</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>
G-2	<p>【目標】 地域特性に応じた道路整備とバス路線の維持・確保（地域特性に応じた道路整備：定住を支援する道路整備）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H29) 47% 最終目標値(H31) 100%</p> <p>現況値(H29) : 実績整備延長/計画整備延長 = 15,160m / 32,310m =47%</p> <p>最終目標値(H31) : 目標整備延長/計画整備延長 = 32,310m / 32,310m =100%</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 18, 20～28, 272</p> <p>[H30] GのNo. 18, 20～28, 264</p>	<p>【参照計画等】 沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>【施策展開】3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化 ※道路街路課（道路事業）</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・城辺下地線 1.68</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>
G-3	<p>【目標】 安全で快適な生活環境の創出（歩いて暮らせる環境づくりの推進：街路整備事業）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(H29) 57% 最終目標値(H31) 100%</p> <p>現況値(H29) : 実績整備延長/計画整備延長 = 6,352m / 11,164m =57%</p> <p>最終目標値(H31) : 目標整備延長/計画整備延長 = 11,164m / 11,164m =100%</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 30～44, 47～ 54, 272, 284～ 293, 306, 311, 320～ 322, 333～337, 350～ 352, 371, 380～ 382, 394～396, 407～ 409, 421～423, 481～ 482, 497～499</p> <p>[H30] GのNo. 30～45, 49～ 54, 264, 276～ 283, 300, 304, 313～ 315, 325～329, 340～ 344, 360, 370～ 372, 385～ 387, 399, 400, 413～ 415, 473, 474, 487, 488</p>	<p>【参照計画等】 沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>【施策展開】1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進</p> <p>【施策展開】2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>【施策展開】3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・伊差川線（伊差川工区） 1.02</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>
G-4	<p>【目標】 各拠点を結ぶ道路網の整備（陸上交通基盤の整備：ハシゴ道路ネットワークの構築）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、安全かつ円滑な道路の整備率を算出する 現況値(H29) 21% 最終目標値(H31) 24%</p> <p>現況値(H29) : 実績整備延長/計画整備延長 = 695m / 3,230m =21%</p> <p>最終目標値(H31) : 目標整備延長/計画整備延長 = 778m / 3,230m =24%</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 45, 46, 55, 272</p> <p>[H30] GのNo. 46～48, 264</p>	<p>【参照計画等】 沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>【施策展開】3-(1)-ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・城間前田線（安波茶工区） 2.5</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-5	<p>【目標】</p> <p>①安全で快適な生活環境の創出 (安全でゆとりある道路空間)</p> <p>②交通安全対策の推進 (交通安全環境の整備)</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成33年度までに事故危険箇所の事故発生件数3割抑止 (事故件数を15件/年以下とする。)</p> <p>H24年指定時：22件/年 3割削減で 22件/年 × (1-0.3) =15.4件/年 ≒ 15件/年 H33年指標：15件/年以下</p>	H33	—	<p>[H29] GのNo. 56, 58～59, 71 ～73, 100～ 104, 273, 277, 539</p> <p>[H30] GのNo. 55, 57, 68～ 70, 101～105, 265, 269</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進</p> <p>・2-(4)-ア 安全・安心に暮らせる地域づくり</p>
G-6	<p>【目標】</p> <p>①安全で快適な生活環境の創出 (安全でゆとりある道路空間)</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成33年度までに4.5kmの歩行空間等を整備</p> <p>・現況値：0km (H29 目標設定時)</p>	H33	—	<p>[H29] GのNo. 57, 67～70, 74 ～84, 86, 88～91, 93～ 99, 275</p> <p>[H30] GのNo. 56, 64～67, 71 ～82, 85～89, 91～ 100, 267</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・1-(7)-イ 歩いて暮らせる環境づくりの推進</p>
G-7	<p>【目標】</p> <p>沖縄都市モノレールを沖縄自動車道(西原入口)まで延長整備することで、効果的・広域的な利用を推進し、定時定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークを形成するとともに、モノレールの需要を喚起し、自動車から公共交通への転換を図ることで、那覇都市圏の交通渋滞緩和に寄与する。</p> <p>【指標】</p> <p>沖縄都市モノレールを整備し、定時定速かつ利便性の高い公共交通ネットワークを形成、確保することで、モノレール乗客数の増加を図る。</p> <p>【目標値】</p> <p>・現況値(H22)35,551人/日 ・中間目標値(H30)40,542人/日 ・最終目標値(H33)50,984人/日</p>	H33	H30	<p>[H29] GのNo. 60～ 66, 220, 279～ 281, 284, 293, 307, 308 , 334, 336, 337, 346～ 348</p> <p>[H30] GのNo. 58～ 63, 212, 276, 283, 326, 328, 329, 271～ 273, 301, 302, 337～ 339</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進</p> <p>・1-(3)-ウ 低炭素都市づくりの推進</p> <p>・1-(7)-ウ 人に優しい交通手段の確保</p> <p>・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>・3-(1)-ウ 陸上交通基盤の整備</p> <p>・3-(2)-エ 観光客の受入体制の整備</p> <p>【事前評価等】</p> <p>http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C 沖縄都市モノレール整備事業 1.5 ※都市計画モノレール課(沖縄都市モノレール延長整備事業)(パークアンドライド駐車場の整備(第4駅周辺等)) 21世紀ビジョン後期実施計画の変更に伴い、以下を変更する。 ・最終目標値(H31)50,862人/日を(H33)50,984人/日に変更する。</p> <p>【中間評価年度の明記】 中間評価年度を記載</p>
G-8	<p>【目標】</p> <p>①運輸部門の低炭素化の推進 (公共交通機関利用の拡大)</p> <p>②コンパクトな都市構造の形式と交通流対策 (公共交通機関の整備・利用促進)</p> <p>③公共交通利用環境の改善 (バス利用環境の整備)</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成31年度までにバス停上屋15基を整備</p> <p>・現況値：0基 (H29 目標設定時)</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 85, 92</p> <p>[H30] GのNo. 83, 90</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・1-(3)-ア 地球温暖化防止対策の推進</p> <p>・1-(3)-ウ 低炭素都市づくりの推進</p> <p>・1-(7)-ウ 人に優しい交通手段の確保</p>
G-9	<p>【目標】</p> <p>商店街・中心市街地の活性化と商業事業者の振興 (商店街・中心市街地の環境整備)</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成31年度までにコミュニティ道路を30%整備</p> <p>・現況値：0% (H29 目標設定時(事業費ベース))</p> <p>整備着手：H27年度：0% 供用予定日(進捗率)：H36年度：100% 10年間で進捗率100%を目指すため、H29～H31の3年間で30%の進捗となる。 H29年度を0ペースとすると、H31年度は30%の事業進捗となる。</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 87</p> <p>[H30] GのNo. 84</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・3-(8)-イ 商店街・中心市街地の活性化と商業の振興</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-10	<p>【目標】</p> <p>①景観資源の保全・再生・利用（無電柱化の推進）</p> <p>②安全で快適な生活環境の創出（安全でゆとりある道路空間の創出）</p> <p>③輸送手段及び避難地等の確保（緊急物資輸送機能の確保）</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成33年度までに無電柱化12kmを推進</p> <p>・現況値：0km（H29 目標設定時）</p>	H33	—	<p>[H29]</p> <p>GのNo. 105～117</p> <p>[H30]</p> <p>GのNo. 106～118</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・1-(6)-ア</p> <p>沖繩らしい風景づくり</p> <p>・1-(7)-イ</p> <p>歩いて暮らせる環境づくりの推進</p> <p>・2-(4)-イ</p> <p>災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>
G-11	<p>【目標】</p> <p>生活基盤等の防災・減災対策（公共施設等における耐震化対策の推進）</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成33年度までに道路橋の補修・耐震補強105箇所実施</p> <p>・現況値：0箇所（H29 目標設定時）</p>	H33	—	<p>[H29]</p> <p>GのNo. 118～162, 278</p> <p>[H30]</p> <p>GのNo. 119～161, 270, 521</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・2-(4)-イ</p> <p>災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>
G-12	<p>【目標】</p> <p>輸送手段及び避難地等の確保（緊急物資輸送機能の確保）</p> <p>【定量的指標】</p> <p>平成33年度までに道路法面等対策60箇所実施</p> <p>・現況値：0箇所（H29 目標設定時）</p>	H33	—	<p>[H29]</p> <p>GのNo. 163～219, 274, 276, 540</p> <p>[H30]</p> <p>GのNo. 162～211, 266, 268, 523</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・2-(4)-イ</p> <p>災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p>
G-13	<p>【目標】</p> <p>沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>ダイビング活動や遊漁活動を主とする小型船利用者の安全性と利便性を確保するため、港湾施設の整備達成率を36%から74%へ向上させる。</p> <p>現況値（H29）：36%</p> <p>中間目標値（H31）：47%</p> <p>最終目標値（H33）：74%</p> <p>現況値（H29）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 21件 / 57件 = 36%</p> <p>中間目標値（H31）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 27件 / 57件 = 47%</p> <p>最終目標値（H33）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 44件 / 59件 = 74%</p>	H33	H31	<p>[H29]</p> <p>GのNo. 221, 223～232, 235～242, 282</p> <p>[H30]</p> <p>GのNo. 213, 215～223, 225～232, 274, 522</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>・2-(6)-ア</p> <p>地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>・3-(1)-イ</p> <p>人流・物流を支える港湾の整備</p> <p>【事前評価等】</p> <p>http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyokagaiyou.html</p> <p>【費用便益】</p> <p>・中城湾港（泡瀬地区）港湾改修事業：2.4</p> <p>・粟国港港湾改修事業：1.2</p> <p>・渡嘉敷港港湾改修事業：1.25</p> <p>・小浜港港湾改修事業：1.63</p> <p>・祖納港港湾改修事業：1.01</p> <p>達成予定年度は、以下を基準として設定しております。</p> <p>・21世紀ビジョンの完了年度</p> <p>・全ての事業が完了する年度ではなく、一定期間（5年間）を定めて目標を設定。</p>
G-14	<p>【目標】</p> <p>沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】</p> <p>定期船が就航している港等において、港湾来訪者の利便性と快適性を確保するため、港湾施設の整備達成率を91%から94%へ向上させる。</p> <p>現況値（H29）：91%</p> <p>中間目標値（H31）：93%</p> <p>最終目標値（H33）：94%</p> <p>現況値（H29）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 53件 / 58件 = 91%</p> <p>中間目標値（H31）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 54件 / 58件 = 93%</p> <p>最終目標値（H33）：整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 55件 / 58件 = 94%</p>	H33	H31	<p>[H29]</p> <p>GのNo. 222, 243～244, 282, 531～533</p> <p>[H30]</p> <p>GのNo.214, 218, 221～223, 225～226, 228～229, 231～234, 274, 518～520</p>	<p>【参照計画等】</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画</p> <p>2-(4)-イ</p> <p>災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>3-(1)-イ</p> <p>人流・物流を支える港湾の整備</p> <p>3-(2)-ウ</p> <p>観光客の受入体制の整備</p> <p>【事前評価等】</p> <p>http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyokagaiyou.html</p> <p>達成予定年度は、以下を基準として設定しております。</p> <p>・21世紀ビジョンの完了年度</p> <p>・全ての事業が完了する年度ではなく、一定期間（5年間）を定めて目標を設定。</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-15	<p>【目標】 沖縄県の地域活性化と観光振興を支援する港湾整備及び快適で潤いのある環境の創造と活気あふれる“みなと”まちづくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 地域や離島での安定した生活の確保のため、定期船や貨物船の安全を確保する港湾施設の整備達成率を57%から92%へ向上させる。</p> <p>現況値 (H29) : 57% 中間目標値 (H31) : 65% 最終目標値 (H33) : 92%</p> <p>現況値 (H29) : 整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 15件 / 26件 = 57 %</p> <p>中間目標値 (H31) : 整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 17件 / 26件 = 65 %</p> <p>最終目標値 (H33) : 整備した施設数/整備を必要とする施設数×100 = 24件 / 26件 = 92 %</p>	H33	H31	<p>【H29】 Gの No. 225, 229, 231, 233 ~234, 236~ 238, 282, 531~ 533, 534</p> <p>【H30】 GのNo. 222~226, 229 ~232, 274, 518, 520</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・3-(1)-イ 人流・物流を支える港湾の整備 ・3-(11)-ウ 交通基盤の整備と交通ネットワークの充実強化</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>【費用便益】 ・粟国港港湾改修事業 : 1.2 ・小浜港港湾改修事業 : 1.63 ・祖納港港湾改修事業 : 1.01</p>
G-16	<p>【目標】 集中豪雨の多発による洪水や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、迅速な情報提供や総合的な浸水対策を実施することにより県民が安全・安心に暮らせる生活の確保を図る。</p> <p>【指標】 整備河川における整備の進捗状況に応じた氾濫面積の合計 Σ (各整備河川の整備前想定氾濫面積×(100%-事業進捗率%))</p> <p>【目標値】 整備河川における氾濫面積を3.88km² (H27) から2.81km² (H31)に縮小</p>	H31	-	<p>【H29】 GのNo. 245, 246, 250~ 253, 490</p> <p>【H30】 GのNo. 235, 236, 242~ 245</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「県民が安全・安心に暮らせる総合的な浸水対策の推進(防災・安全)」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・川崎川 1.8 ・比謝川 3.1 ・謝名堂川 1.6 ・報得川 2.0</p>
G-17	<p>【目標】 治水・利水などの機能に重要なダム安全性および機能を長期にわたり維持するため、長寿命化計画に基づく施設の改良を推進することにより、ダムの安定的な運用を図る。</p> <p>【指標】 ダム長寿命化計画に基づき電気通信設備及び機械設備の改良を行う。</p> <p>H29 : 0設備 (現況値) H34 : 22設備 (目標値)</p>	H34	-	<p>【H29】 -</p> <p>【H30】 GのNo. 237</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(4)-イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化</p> <p>【指標の記載】 設備改良実施に係る具体的な数値目標を記載。</p>
G-18	<p>【目標】 沖縄県は台風常襲地帯であることに加え、地球温暖化の気候変動に伴う集中豪雨など災害の危険度が高いことから、県民の生命及び財産を守り、あわせて沖縄振興のための社会資本を保全する必要がある。災害の未然防止のため土砂災害対策を推進することにより、災害に強い県土をつくとともに、安全安心な生活環境の確保を図る。</p> <p>【指標】 ①土砂災害のおそれのある人家約700戸を保全するため土砂災害対策を推進する。(前計画からの継続事業を含め約1,800戸の土砂災害対策を完了させる)</p> <p>②土砂災害のおそれのある災害時要配慮者利用施設の保全について5施設の土砂災害対策を推進する。(前計画からの継続事業である2施設を含め5施設の土砂災害対策を完了させる)</p> <p>【目標値】 現況値 (H27) 約6,800戸・36施設、最終目標値 (H31) 約7,500戸・41施設</p>	H31	-	<p>【H29】 GのNo. 247~249</p> <p>【H30】 GのNo. 238~241</p>	<p>【参照計画等】 社会資本整備計画の「災害に強い県土づくり～土砂災害対策の推進～」に位置付け、社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・小兼久川 1.7 ・安和与那川 2.08 ・饒波川 1.51 ・東屋部川 3.16</p>

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-19	<p>【目標】 沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、未だに高潮、越波による災害が発生しており整備を推進する必要がある。 一方、優れた自然景観を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の貴重な観光資源となっている。 このため、防護が必要な海岸において所要の安全を確保するとともに、環境や利用にも配慮し、防護・環境・利用が調和した総合的な海岸整備を推進する。</p> <p>【指標】 高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を57.3ha(H27)から25.8ha(H31)に減少させる。</p> <p>【目標値】 現況値(H27) : 57.3ha、最終目標値(H31) : 25.8ha</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 254~256</p> <p>[H30] GのNo. 246~248</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・東村有銘 14.2 ・北谷町北前 14.1 ・うるま市豊原 6.1 ・北中城村熱田 2.4 ・南城市仲伊保 7.0 ・うるま市川田 38.9</p> <p>○各地区の完了予定年度とは別に、現状値(H27)から5年後(H31年度末)の状況を最終目標値として設定している。</p>
G-20	<p>【目標】 海岸保全施設の機能診断及び長寿命化計画の策定を行うことにより、予防保全型の効率的・効果的な維持管理を推進することにより、施設の長寿命化を図る。</p> <p>【指標】 海岸保全施設にかかる長寿命化計画を策定する。</p> <p>【目標値】 長寿命化計画の策定地区数 現況値(H27)190地区、最終目標値(H30)297地区</p>	H30	—	<p>[H29] GのNo. 257, 258</p> <p>[H30] GのNo. 249, 250</p>	
G-21	<p>【目標】 金武湾海岸ギンバル地区において、砂浜など海岸整備を行うことにより海浜利用の活性化を図る。</p> <p>【指標】 ビーチとして利用可能な海岸延長を増加させる。</p> <p>【目標値】 海岸線延長 現況値(H28)0m、最終目標値(H32)750m</p>	H32	—	<p>[H29] GのNo. 259</p> <p>[H30] GのNo. 251</p>	<p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・金武湾海岸ギンバル地区 1.47</p> <p>【定量的指標の変更】 実施設計に伴う平面計画変更による事業期間の延長(H31→H32)</p>
G-22	<p>【目標】 砂防関係施設の長寿命化計画を策定し、既存施設の健全度等を把握し長期にわたりその機能及び性能を維持・確保するとともに、災害に強い県土づくり安全安心な生活環境の確保を図る。</p> <p>【指標】 平成31年度末までに、砂防関連事業(砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設)の長寿命化計画を策定する。</p> <p>【目標値】 現況値(H27)0施設、最終目標値(H31)3施設(砂防設備、地すべり防止施設、急傾斜地崩壊防止施設)</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 249</p>	<p>【参照計画等】 社会資本整備計画の「災害に強い県土づくり～土砂災害対策の推進～」に位置付け、社会資本整備総合交付金(防災・安全交付金)と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 無し。</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-23	<p>【目標】 下水を速やかに排除・処理することにより、生活環境の改善、浸水の防除、海や河川等の公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、豊かな自然環境の保全・再生に大きく寄与する。</p> <p>【指標】 幹線整備や関連市町村の面整備に伴う汚水増に対応した処理施設の増設を推進し、下水道処理人口を増加させる。</p> <p>下水道処理人口普及率(%)=下水道によって供用開始している処理区域の定住人口(人)÷住民基本台帳に記載された人員(人)×100</p> <p>【目標値】 現況値(H25) 69.9% 中間目標値(H29) 73.0% 最終目標値(H31) 74.5%</p>	H31	H29	<p>[H29] GのNo. 260～ 268, 294, 309, 315, 328, 332, 341, 360～ 362, 374, 375, 379, 386, 393, 404, 406, 414, 415, 420, 430, 431, 444, 445, 455, 466, 468, 473, 476, 477, 479, 480, 489, 491, 495, 496, 504, 506, 508, 509, 511, 512, 522, 527, 535</p> <p>[H30] GのNo. 252～ 258, 284, 303, 308, 319, 324, 333, 350～ 352, 358, 363, 369, 377, 383, 395, 398, 405～ 407, 412, 421, 422, 434, 435, 445, 456, 458, 463, 468, 469, 471, 472, 481, 482, 485, 486, 493, 495, 497～501, 510, 511, 515</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」及び「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備(重点計画)」、「沖縄地域の防災・暮らしの安心に資する下水道整備(防災・安全)」及び「沖縄地域の防災・暮らしの安心に資する下水道整備(防災・安全)(重点計画)」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。 ○沖縄汚水再生ちゅら水プラン2016(沖縄県下水道等整備構想) H28, 8版 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/koukyoujigyousaihyouka.html ○B/C ・中部流域下水道事業(那覇処理区) 2.53(H30) ・中部流域下水道事業(伊佐浜処理区) 2.15(H30) ・中城湾流域下水道事業(具志川処理区) 1.29(H30) ・中城湾南部流域下水道事業(西原処理区) 1.29(H27)</p>
G-24	<p>【目標】 沖縄県内における、宅地造成に伴う大規模盛土造成地のおおむねの位置と規模を記載したマップを作成し、住民の防災意識を高めることを目的とする。</p> <p>【指標】 平成32年度までに、沖縄県全域(那覇市を除く)における宅地造成に伴う大規模盛土造成地のおおむねの位置を抽出し、マップを作成する。</p> <p>【目標値】 大規模盛土造成地マップを作成する。 現況(H29末)0市町村 ⇒ 最終(H31末)40市町村</p>	H31	—	[H30] GのNo. 259	
G-25	<p>【目標】 沖縄県では、沖縄振興計画等に基づいて自然・歴史・平和の学習やレクリエーション需要を満たすとともに、災害時の避難場所ともなる県営都市公園の整備を図っている。引き続き、従来計画を推進すると共に、長寿・健康福祉社会といった社会情勢の変化に対応した公園施設のバリアフリー化や老朽化施設の再整備等、利用者がより安全で安心して利用でき、観光にも資する公園整備を目指す。</p> <p>【指標】 ①県営公園整備面積 ②県営全9公園の利用者数</p> <p>【目標値】 ①434ha(H25年度末)→440ha(H31年度末) ②598万人(H25年度末)→630万人(H31年度末)</p>	H31	H29	<p>[H29] GのNo. 269, 283</p> <p>[H30] GのNo. 260, 275</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画に位置づけ、社会資本整備総合交付金で実施する「沖縄県における県営都市公園整備の推進」と一体となって目標を達成するため、社会資本総合整備計画と成果目標を一致させている。</p>
G-26	<p>【目標】 『バリアフリー化、省エネ化及び耐震化等高い住宅性能を備えた住宅ストックの形成』</p> <p>【定量化】 高齢者及び身体障害者等に対応した公営住宅整備＝県下の公営住宅の内、高齢者等への配慮がなされた公営住宅の管理戸数の割合</p> <p>【目標値】 当初現況値(H27) : 23.6%、中間値 : 26.7%、最終目標値 : 29.8%</p>	H32	H29	<p>[H29] GのNo. 270, 271, 303～ 305, 319, 330, 331, 365～ 369, 377, 378, 389～ 392, 418, 419, 432～ 438, 447, 449, 453, 457, 459, 460, 467, 469～ 471, 510, 513, 514, 516, 517, 525, 528, 529, 543, 544</p> <p>[H30] GのNo. 261～ 263, 298, 299, 312, 322, 323, 355～357, 365～ 368, 380～ 382, 384, 397, 410, 411, 424～ 427, 437, 440, 443, 447, 449～ 451, 457, 459, 460, 465, 466, 502, 503, 505, 514, 516, 517, 524</p>	<p>【参照計画等】 ○地域住宅計画 ・沖縄県地域(H27開始版)</p> <p>○沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(3)-エ 福祉セーフティネットの形成</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>○社会資本総合整備交付金フェックシート</p> <p>○B/C 県営大謝名団地 ・・・1.15 県営平良北団地建替事業 ・・・0.83 県営平良南団地建替事業 ・・・0.83</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-27	<p>【目標】 都市公園整備事業の推進を図ることにより、良好な地域環境の形成、自然環境の保全、災害時における緊急避難地の確保等、快適で安全で安心した都市環境を提供するとともに、公園利用者の利用利便性の向上を目指す。</p> <p>【定量的指標】 那覇市における一人当たり公園面積を5.55㎡/人（H26年度末）から5.71㎡/人（H31年度末）に増加する。</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 295～301, 310</p> <p>[H30] GのNo. 285～290, 292～297</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「那覇市都市公園整備推進計画（防災・安全）」に位置付け、社会資本整備総合交付金と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本総合整備交付金チェックシート</p> <p>【定量的指標変更】 社会資本総合整備計画の中間評価時に最終目標を達成していたことから、目標値の見直しを図り整備計画を変更したため、同整備計画と整合をとった。</p> <p>5.62㎡/人（H31年度末）→5.71㎡/人（H31年度末）</p>
G-28	<p>【目標】 那覇市公園施設長寿命化計画に基づく老朽化施設の改築等が必要な那覇市営公園において撤去及び更新を行う。</p> <p>【定量的指標】 平成31年までに那覇市公園施設長寿命化計画が策定されている公園施設のうち、19公園の撤去及び更新を行う。 現況値（H26末）0公園 → 中間目標値（H29末）13公園 → 最終目標値（H31末）19公園</p>	H31	H29	<p>[H29] GのNo. 302</p> <p>[H30] GのNo. 291</p>	<p>【事前評価等】 ○社会資本総合整備交付金チェックシート</p>
G-29	<p>【目標】 吸収源対策公園緑地事業により那覇市の対象公園緑地の緑の整備・保全を行なうことで、地球温暖化に起因する温室効果ガス排出を抑制し、都市環境の改善、自然環境の保全に寄与することとあわせ、公園利用者に潤いを与える。</p> <p>【定量的指標】 天久緑地他5箇所の公園・緑地における緑化整備・保全面積を2.79ha（H29年度末）から3%増加（H31年度末）させる。</p>	H31	—	<p>[H30] GのNo. 292～297</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「那覇市都市公園整備推進計画（防災・安全）」の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本総合整備交付金チェックシート</p>
G-30	<p>【目標】 地域住民の生活に密着した市町村道の整備を推進し、安全で円滑な交通の確保、生活環境の向上を図る。</p> <p>【指標】 安全で円滑な交通の確保及び生活環境のための市町村道の整備延長</p> <p>【目標値】 現況値（H28）：0.0km 中間目標値（H31）：17.0km 最終目標値（H33）：28.4km</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 312, 313, 323, 353～359, 372, 373, 383, 397～403, 410～412, 424～427, 439～443, 446, 448, 450～452, 454, 456, 458, 461～465, 475, 478, 483～487, 492～494, 500～502, 507, 515, 518～521, 524, 526, 530</p> <p>[H30] GのNo. 305, 306, 316, 345～349, 361, 362, 373, 374, 388～394, 401～403, 416～418, 429～433, 436, 438, 439, 441, 442, 444, 446, 448, 452～455, 461, 467, 470, 475～479, 483, 484, 489～491, 496, 504, 506～509</p>	<p>【参照計画等】 ○沖縄21世紀ビジョン実施計画・2-(6)-ア 地域特性に応じた生活基盤の整備</p>
G-31	<p>【目標】 公共施設の整備改善と良好な宅地の供給</p> <p>【指標】 土地区画整理事業により整備された宅地面積</p> <p>【目標値】 現況値（H24）1,885ha 中間目標値（H28）2,022ha 最終目標値（H33）2,137ha</p>	H33	—	<p>[H29] GのNo. 314, 338, 339, 340, 349, 384, 385, 413, 428, 472, 488, 503</p> <p>[H30] GのNo. 307, 330, 331, 332, 375, 376, 404, 419, 428, 462, 480, 492</p>	

平成 30 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-32	<p>【目標】 環境保全機能、レクリエーション機能、防災機能、景観形成機能といった、緑のもつ機能にあった公園整備や公園施設の改築・更新を行い、より一層市民が身近に緑と親しめる環境を創出し、快適で魅力ある都市づくりを推進する。</p> <p>【指標】 宜野湾市における一人当たりの公園面積を3.83㎡/人（H29）から4.55㎡/人（H33）に増加</p> <p>【目標値】 宜野湾市における一人当たりの公園面積 現況（H29）3.83㎡/人⇒中間（H31）3.91㎡⇒最終（H33）4.55㎡/人</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 316～317</p> <p>[H30] GのNo. 309～310</p>	<p>【事前評価等】 ○B/C ・野嵩第一公園 1.5 ・比屋良川公園 1.2</p>
G-33	<p>【目標】 宜野湾市公園施設長寿命化計画および、有資格者による年一回の遊具定期点検結果における健全度に基づき、適切に公園施設の維持管理を行い、更新が必要と判断される施設については計画的に改築を実施し、公園利用者の安心・安全の確保に努める。</p> <p>【定量的指標】 長寿命化計画の対象公園のうち、平成29年度から平成33年度までに、10公園35施設の更新等を行う。</p> <p>現況 0公園0施設（H28年度末） ⇒ 中間（H31年度末）6公園23施設 ⇒ 最終（H33年度末）10公園35施設</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 318</p> <p>[H30] GのNo. 311</p>	<p>【定量的指標変更】 平成23年度策定の宜野湾市公園施設長寿命化計画について、平成30年度に新たに3公園を追加し長寿命化計画を見直したため、対象公園が34公園から37公園となった。</p> <p>また、指標設定時点の「現況」の時期が記載されていなかったため今回記載した。</p>
G-34	<p>【目標】 老朽化した既存施設の改良を行い、施設延命化、港湾施設の安全性向上を図る。</p> <p>【定量的指数】 改良施設数を算出する。 現況値（H28）：0箇所 中間目標値（H31）：4施設 最終目標値（H33）：7箇所</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 324</p> <p>[H30] GのNo. 317</p>	
G-35	<p>【目標】 港湾を訪れる地元住民、観光客の交流、観光拠点として港のにぎわい空間の創出を図る。</p> <p>【定量的指数】 緑地整備面積を算出する。 ①登野城ターミナル緑地 現況値（H28）：0ha 中間目標値（H31）：0.75ha 最終目標値（H34）：1.2ha ②新港地区緑地 現況値（H28）：5.9ha 中間目標値（H31）：5.9ha 最終目標値（H34）：6.9ha</p>	H34	H31	<p>[H29] GのNo. 327</p> <p>[H30] GのNo. 318</p>	<p>【事前評価等】 ・登野城ターミナル緑地 2.0 ・新港地区緑地 1.54</p>
G-36	<p>【目標】 石垣島を代表する観光拠点として、既存公園の整備及びバリアフリー化改築等を行い、都市公園利用者である市民や観光客の利便性及び安全性の向上を図り、名勝「川平湾」との調和のとれた公園整備を目指す。</p> <p>【定量的指標】 川平風致公園における供用開始面積：現況値2.2ha（H29末）→中間目標値（H32末）2.3ha→最終目標値（H34末）2.5ha</p>	H34	H32	<p>[H30] GのNo. 320</p>	<p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート ○B/C ・川平風致公園 2.64</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-37	<p>【目標】 石垣市における公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者のニーズに合わせた公園施設の適切な改築・更新、バリアフリー化改築等を行い、都市公園利用者の利便性・安全性の向上及び公園利用者促進を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①石垣市におけるバリアフリー園路・広場適合率： 75% (H27末) → 88% (H31末)</p> <p>現況値 (H27末) : バリアフリー化適合公園数/バリアフリー化対象公園数 = 6/8 =75%</p> <p>最終目標値 (H31) : バリアフリー化適合公園数/バリアフリー化対象公園数 = 7/8 =88%</p> <p>②石垣市公園施設長寿命化計画が策定されている公園施設のうち、2公園の園路広場、管理施設等を改築・更新する。 2公園の公園施設の適切な改築・更新 現況 (H27末) 21% → 最終 (H31末) 72%</p> <p>現況値 (H27末) : 改築済施設数/改築対象施設数 = 12/55 =21%</p> <p>最終目標値 (H31) : 改築済施設数/改築対象施設数 = 40/55 =72%</p>	H31	—	[H30] GのNo. 321	<p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金フェックシート</p>
G-38	<p>【目標】 浦添市の憩いの拠点となる都市公園整備の推進と、緑の骨格となる都市緑地の保全・活用を図るとともに、土地区画整理事業区域内の都市公園整備を推進する。</p> <p>【指標】 一人当たり都市公園面積を5.35㎡ (H26末) から5.58㎡ (H31) に増加</p> <p>【目標値】 一人当たり都市公園面積： 現況 (H26末) 5.35㎡⇒中間 (H29) 5.46㎡⇒最終 (H31) 5.58㎡</p>	H31	H29	[H29] GのNo. 342～344 [H30] GのNo. 334～335	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「浦添市都市公園の整備による災害に強いまちづくり」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金フェックシート</p>
G-39	<p>【目標】 浦添市公園施設長寿命化計画に基づき都市公園安全・安心対策事業により、公園施設の適切な改築・更新を行い、安全で安心して利用できる都市公園整備を推進する。</p> <p>【指標】 平成27年度～平成31年度の間で浦添市公園施設長寿命化計画が策定されている公園施設のうち、20公園の改築・更新を行う。</p> <p>【目標値】 改築・更新の公園数： 現況 (H27末) 4公園⇒ 中間 (H29) 12公園⇒ 最終 (H31) 20公園</p>	H31	H29	[H29] GのNo. 345 [H30] GのNo. 336	<p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金フェックシート</p>
G-40	<p>【目標】 地域住民の意見を踏まえ、安全で安心した都市環境を提供し、親しみのある都市公園の計画的な整備を推進するとともに、競技スポーツの振興及び市民の生涯スポーツ・健康増進・レクリエーションの充実に資する都市公園の整備を目指す。</p> <p>【定量的指標】 名護市における一人当たりの公園面積を19.58㎡/人 (H28年度当初) から19.88㎡/人 (H32年度末) に増加する。 現況値 : 19.58㎡/人 (H28) 中間目標値 : 19.71㎡/人 (H30) 最終目標値 : 19.88㎡/人 (H32)</p>	H32	H30	[H29] GのNo. 363, 370 [H30] GのNo. 353, 359	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「名護市都市公園整備推進計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金フェックシート</p> <p>【定量的指標変更】 目標設定時に予定していた複数公園の新規事業化が困難であること及び、想定していた人口と実績に開きがあったことから、社会資本総合整備計画の変更を行ったため、同整備計画と整合をとった。</p> <p>19.70㎡/人 (H32年度末) →19.88㎡/人 (H32年度末)</p>
G-41	<p>【目標】 名護市公園施設長寿命化計画に基づく老朽化した都市公園施設の改築更新を行うことにより、誰もが安全で安心して利用できる環境を整備する。</p> <p>【定量的指標】 名護市公園施設長寿命化計画で策定した56公園の公園施設のうち、平成32年度までに11公園26施設の更新等を行う。 現況 (H27末) 15公園62施設 ⇒ 最終 (H32末) 26公園88施設</p>	H32	—	[H29] GのNo. 364 [H30] GのNo. 354	<p>【達成予定年度変更】 「その他関連する事業」として社会資本総合整備計画に位置づけられており、同整備計画の計画期間と整合をとった。 H30→H32</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-42	<p>【目標】 H24年度に策定した糸満市都市公園施設長寿命化策定計画をベースに10公園15施設の改築、更新を行う。</p> <p>【定量的指標】 現況(H29)0公園0施設 ⇒ 中間目標値(H30末)7公園11施設 ⇒ 最終目標値(H33末)10公園15施設</p>	H33	H30	<p>[H29] GのNo. 376</p> <p>[H30] GのNo. 364</p>	
G-43	<p>【目標】 こどもの国公園を中心に緑の骨格となる都市緑地の保全・活用を図るとともに、市内の都市緑地の整備を推進し、花と緑が彩り潤いのあるまちづくりを目指す。</p> <p>【定量的指標】 1人当たり公園面積を8.92㎡(H26末)から8.95㎡(H31末)に増加する。</p> <p>【目標値】 1人当たり都市公園面積＝都市公園の供用開始面積の合計÷都市計画区域人口 当初現況値(H26末)8.92㎡/人 ⇒ 中間目標値(H28末)8.81㎡/人 ⇒ 最終目標値(H31末)8.95㎡/人</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 387</p> <p>[H30] GのNo. 378</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「沖縄市都市公園整備計画」に位置づけ、社会資本整備総合交付金事業で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート</p> <p>【達成予定年度変更】 社会資本整備総合計画の対象事業と一体となって目標を達成するため、評価時期及び定量的指標を同整備計画と合わせた。</p>
G-44	<p>【目標】 各都市公園内の公園施設において改築・更新等を行い、誰もが快適で安全で安心した都市環境を提供するとともに、公園利用者の利用利便性の向上を目指す。</p> <p>【定量的指標】 沖縄市公園施設長寿命化計画で策定した87公園の公園施設のうち、平成31年度末までに7公園15施設の更新等を行う。</p> <p>【目標値】 現況値(H26末)0公園0施設 ⇒ 中間目標値(H28末)5公園12施設 ⇒ 最終目標値(H31末)7公園15施設</p>	H31	—	<p>[H29] GのNo. 388</p> <p>[H30] GのNo. 379</p>	<p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート</p> <p>【達成予定年度変更】 「その他関連する事業」として社会資本総合整備計画に位置づけられており、同整備計画の計画期間と整合をとった。</p>
G-45	<p>【目標】 豊見城市公園長寿命化計画において、改築・更新が必要と判断した公園施設や、有資格者による定期点検において、緊急を要する公園施設の改築・更新を推進することで、公園利用者の利便性及び安全性の向上を図る。</p> <p>【指標】 平成32年度末までに、都市公園27公園のうち20公園の遊具等を更新し、利用者の安全・安心を確保する。</p> <p>【目標値】 施設の改築・更新を行った公園数： 現況値(H26末)9箇所⇒中間(H29末)12箇所⇒最終(H32末)20箇所</p>	H32	H29	<p>[H29] GのNo. 405</p> <p>[H30] GのNo. 396</p>	
G-46	<p>【目標】 うるま市の都市公園の整備推進を図ることにより、市民の交流及び健康増進、自然環境の保全、災害時における一時避難所の確保等、快適で安全・安心な都市環境を整備し、公園利用者の利便性及び防災機能の向上をめざす。</p> <p>【指標】 1人当たりの公園面積を8.82㎡/人(H28末)から8.97㎡/人(H33末)にする。</p> <p>【目標値】 1人当たりの都市公園面積 当初現況値(H28末)8.82㎡/人⇒中間目標値(H31末)8.93㎡/人⇒最終目標値(H33末)8.97㎡/人</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 416</p> <p>[H30] GのNo. 408</p>	<p>【事前評価等】 ○B/C ヌーリ川公園(うるま市) 1.9</p>
G-47	<p>【目標】 うるま市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の適切な改築・更新を行い、安全・安心な公園施設の管理に努める。</p> <p>【指標】 うるま市公園施設長寿命化計画で策定した84公園のうち、更新予定施設148施設のうち、平成33年度末までに30施設の更新等を行う。</p> <p>【目標値】 現況値(H28末)0施設 0% ⇒ 中間目標値(H31末)17施設 56.6% ⇒ 最終目標値(H33末)30施設 100%</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 417</p> <p>[H30] GのNo. 409</p>	

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-48	<p>【目標】 港湾を訪れる地元市民と観光客との交流の拠点として人々に親しまれる施設を整備することにより、物流・交流及び観光拠点としての港湾機能の強化を図るとともに、にぎわいのある港づくりを図る。</p> <p>【定量的指標】 瀬水地区施設整備率（第4埠頭整備）を0%から100%へ向上させる。 中間目標値（H30）：45% 最終目標値（H32）：100%</p>	H32	H30	<p>[H29] GのNo. 429</p> <p>[H30] GのNo. 420</p>	<p>【達成予定年度の変更】 事業計画の変更によるもの (H31→H32)</p>
G-49	<p>【目標】 宮古島市都市公園施設長寿命化策定計画に基づき、都市公園の適正な管理による公園利用者の安全・安心の確保を図るため、公園施設の改築・更新を行う。</p> <p>【指標】 宮古島市の長寿命化計画が策定されている公園の内、7公園の改築・更新（H34末）を行う。</p> <p>現況（H29末）0公園 ⇒ 中間（H32末）3公園 ⇒ 最終（H34末）7公園</p>	H34	H32	[H30] GのNo. 423	
G-50	<p>【目標】 北谷町公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新等が必要だと判断した公園施設や、緊急を要する公園施設の改築・更新等を行うことで、都市公園利用者が安全で安心して利用できるだけでなく、都市公園利用者の利便性向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 北谷町公園施設長寿命化計画が策定されている公園施設のうち、4公園15施設の改築・更新等を行う。</p> <p>【目標値】 現況値（H28年度末）0公園0施設 → 中間目標値（H30年度末）3公園8施設 → 目標最終値（H32年度末）4公園15施設</p>	H32	H30	<p>[H29] GのNo. 474</p> <p>[H30] GのNo. 464</p>	<p>【定量的指標変更】 平成25年度策定の北谷町公園施設長寿命化計画において、計画と現状とで施設更新時期の隔たりが生じていることから、平成30年度に長寿命化計画の見直しを行った。計画見直しに伴い、定量的指標の変更を行った。</p>
G-51	<p>【目標】 南風原町における1人当たり公園面積は、6.3㎡/人（平成28年度末）と全国平均10.2㎡/人（平成26年度末）を大きく下回っていることから、町内の都市公園及び都市緑地の整備を推進することにより、花と緑が彩り潤いのあるまちづくりを目指すとともに、公園施設のバリアフリー化や老朽化施設の改築・更新等を行うことにより、だれもが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。</p> <p>【定量指標】 ①都市公園面積6.3㎡/人（平成28年度末）を8.9㎡/人（平成33年度）に増加させる。 ②都市公園のバリアフリー化された都市公園率50%（平成28年度末）を60%（平成33年度末）に増加させる。</p> <p>【目標値】 ①南風原町1人当たり都市公園面積＝都市公園の開設面積の合計÷都市計画区域人口 当初現況値（H28末） 6.3㎡/人 ⇒ 中間目標値（H31末） 7.2㎡/人 ⇒ 最終目標値（H33末） 8.9㎡/人 ②南風原町のバリアフリー化された都市公園率＝バリアフリー化された都市公園の開設箇所÷都市公園の開設箇所数 ・当初現況値（H28末） 50% ⇒ 中間目標値（H31末） 56% ⇒ 最終目標値（H33末） 60%</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 505</p> <p>[H30] GのNo. 494</p>	<p>【参照計画等】 社会資本整備計画の「南風原町都市公園整備計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート</p>
G-52	<p>【目標】 八重瀬町における農村公園を含めた住民一人当たりの公園面積を20㎡/人を目標とし、現在整備中の都市公園の整備を進める。また、将来に市街地等を想定した公園誘致圏の検討及び町民のニーズ等を踏まえ、計画的な都市公園の整備（設置）を進める。</p> <p>【指標】 都市計画区域内における一人当たり都市公園面積は、中間評価（平成31年度）までに13.52㎡/人、平成33年度までに14.88㎡/人とする。</p> <p>【目標値】 1人当たり都市公園面積：13.42㎡/人（H28末） → 13.52㎡/人（H31末） → 14.88㎡/人（H33末）</p>	H33	H31	<p>[H29] GのNo. 523</p> <p>[H30] GのNo. 512</p>	<p>【参照計画等】 社会資本整備総合計画の「八重瀬町都市公園整備計画」に位置づけ、社会資本整備総合交付金事業で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート</p>

番号	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対応事業	参照情報
G-53	<p>【目標】 都市公園施設の老朽化や危険度に関する調査を行い、改築・更新を目指した長寿命化計画を策定する。そして、当計画に基づき都市公園安全・安心対策事業により、公園施設の適切な改築・更新を行い、安全で安心して利用できる都市公園整備を推進する。</p> <p>【指標】 ①公園施設の計画的な修繕・改築を行うための点検・調査、及び同点検・調査の結果に基づく公園施設長寿命化計画の策定を行う。 ②平成30年度～平成31年度の間で八重瀬町公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の改築・更新を行う。</p> <p>【目標値】 ①計画策定を行う園数 5公園(29末) → 6公園(H31) ②改築・更新を行う公園施設箇所数 0箇所(29末) → 2箇所(H31)</p>	H31	-	[H30] GのNo. 513	
H2-1	<p>【目標】 自然公園を広く国民の利用に供し、国民の保健・医療及び教化に資するために必要な利用施設(休憩所・トイレ・駐車場・探勝歩道・標識等)を再整備する。</p> <p>【定量的指標】 ①自然環境整備計画(H28～H32)に基づく老朽化施設(具志頭園地、運天森園地、真栄田岬園地、喜屋武岬園地)の整備率100% ・中間評価(具志頭園地、運天森園地)における整備率50% ②施設整備前後にアンケート調査を行い、安全に快適に利用されている等、利用者の満足度向上を目指す。 ※現況値(H29具志頭園地) 整備前満足度: 48%</p>	H32	H30	[H29] H2のNo. 1～2 [H30] H2のNo. 1	【参照計画等】 ○自然環境整備計画(国定公園等整備事業)

- (注) 1. 欄の不足に際しては、表の加工による欄の増加や別添への参照を適宜行うこと。
2. 事業計画に記載された全ての事業に係る成果目標を設定する(当該年度の事業計画に記載された事業以外の事業と一体となって目標を達成する場合には、他事業との統合効果により目標を達成する旨を記載のこと)。ただし、選択しなかった事業については目標を設定する必要はない。
成果目標については、括り方も数も沖縄県の任意であり、国から別途提示される「評価等が必要と考えられる項目」を参照し、自主的に設定すること。
なお、交付要綱等において別途の評価に係る規定に基づき目標設定が行われているものや、沖縄県自らの別途の評価の仕組みの中で別途成果目標を定めているものについては、参照情報に、それらの仕組みによる目標設定に係る情報が公表されている旨を記載する(重複しての新たな目標設定が求められるものではない)。また、沖縄振興公共投資交付金による事業以外の事業とも連携した効果を期待する場合には、それら他事業とあわせて目標設定も行う得る。
3. 成果目標の達成予定時期には事後評価を行うことが前提とされる。長期(おおむね5年程度以上)にわたる事業では、当該成果目標の達成状況についておおむね3年程度の適当な期間ごとに中間評価を行うよう努めること。
4. 対応事業は、別表に掲げる事業のうちから1つ以上を選択し、記号を記載のこと。
その際、記号ごとに事業計画に掲載されている全ての事業が対象であれば記号のみを記載し(例、「A」、一部の事業のみを対象とする事業であれば、事業計画に記載されている事業との関連が分かるようにすること(例、事業計画の通し番号を用いる場合には、「D1のNo.1」等))。
5. 「参照情報」には、これまでの制度の中で既に実施した事前評価の結果など、成果目標を設定する上で重要と考えられる情報を適宜記載のこと。